



8月のほけんだよ!



令和3年8月1日発行
明照保育園
たんぽぽルーム

猛暑が続く、今日この頃。全国的に季節はずれの「RSウイルス感染症」が、大流行しています。当園でも、6月末から始まりピークは7月中旬で、1歳児クラスが2日間クラス閉鎖をお願いするなど大変ご迷惑をおかけしました。RSウイルスは登園停止にならない感染症ですが、咳や鼻水によって不機嫌だったり、ぐっすり眠れなかったりと、体力を消耗します。水遊び・プール遊びも始まり、元気そうに見えていても意外と体は疲れています。栄養や水分をしっかりととり、暑い夏を乗り切りましょう!!



水あそび・プールあそびをする前にチェックを!!



虫刺されなどの後や、傷がなかなか治らないなど、皮膚がジュクジュクしているところはありませんか? ツユが出てジュクジュクしていると、とびひになる可能性があります。ジュクジュクしている傷がある場合は、かさぶたになるまで水あそびやプールあそびは控えましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。

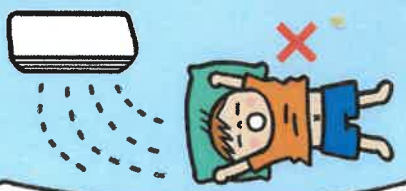


流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

寝冷えに気を付けましょう

クーラーを使用する時期となり、冷やし過ぎなどによる寝冷えが増えていきます。クーラーや扇風機は様子を見ながら止めるようにしましょう。また、パジャマは汗を吸収しやすい綿やタオル地の物を着せ、上着はズボンの中に入れます。寝る時は、お腹にタオルケットなどをかけましょう。



虫除け対策

子どもは皮膚の抵抗力が弱いので、虫刺されが原因で、とびひなどの皮膚病になってしまうことがあります。網戸に虫除けスプレーをしたり、虫の嫌う香りのローズマリーの鉢を置いたり、虫除けパッチやリストバンドを身に付けさせるなど、ご家庭でも簡単にできる虫除け対策を行いましょう。また、外出時や登園前に虫除け(スプレータイプやウェットティッシュタイプなど)を行うのも効果的です。

